

平成30年7月

豪雨災害の復興に向けて



がんばるけん
えひめけん



愛媛県復興支援シンボルマーク

平成30年10月9日（火）

1 県内の主な被害状況

大洲市内



【大洲市全体の被害】
死者：4人
住家被害：3,132棟

宇和島市（吉田町）



【宇和島市全体の被害】
死者：11人
住家被害：1,818棟

西予市（野村町）



【西予市全体の被害】
死者：5人
住家被害：635棟

怒和島（松山市）

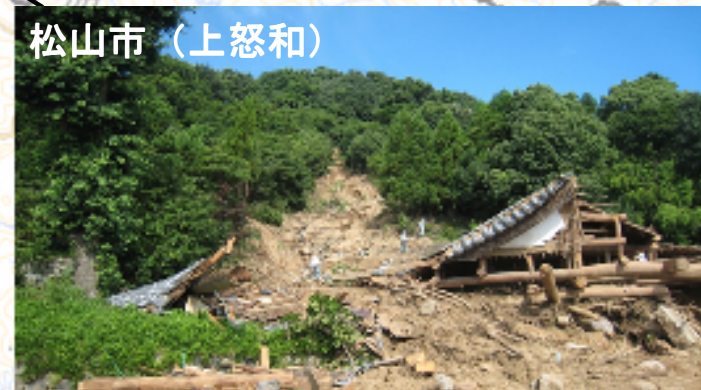
大島（今治市）

今治市（吉海町泊）



【今治市全体の被害】
死者：2人
住家被害：109棟

松山市（上怒和）



【松山市全体の被害】
死者：4人
住家被害：434棟

2 発災後の対応・応急復旧対策

災害対応の基本方針

「地域を守る」ため、「人を守る」「生活を守る」「産業を守る」

1. 人命救助



○自衛隊、消防、警察等との
連携により **133名救出**

2. 水の確保



○最大12市町 **31,068戸が断水**
○宇和島市三間地区・吉田地区も8月上旬に通水

3. 住居環境の早期整備

○仮設住宅の整備 **8月下旬完成**
○民間住宅の借上げ、公営住宅の提供等

○宇和島市吉田地区の浄水施設の復旧



被災直後の吉田浄水場（7月5日）

土砂災害により、浄水場が被災

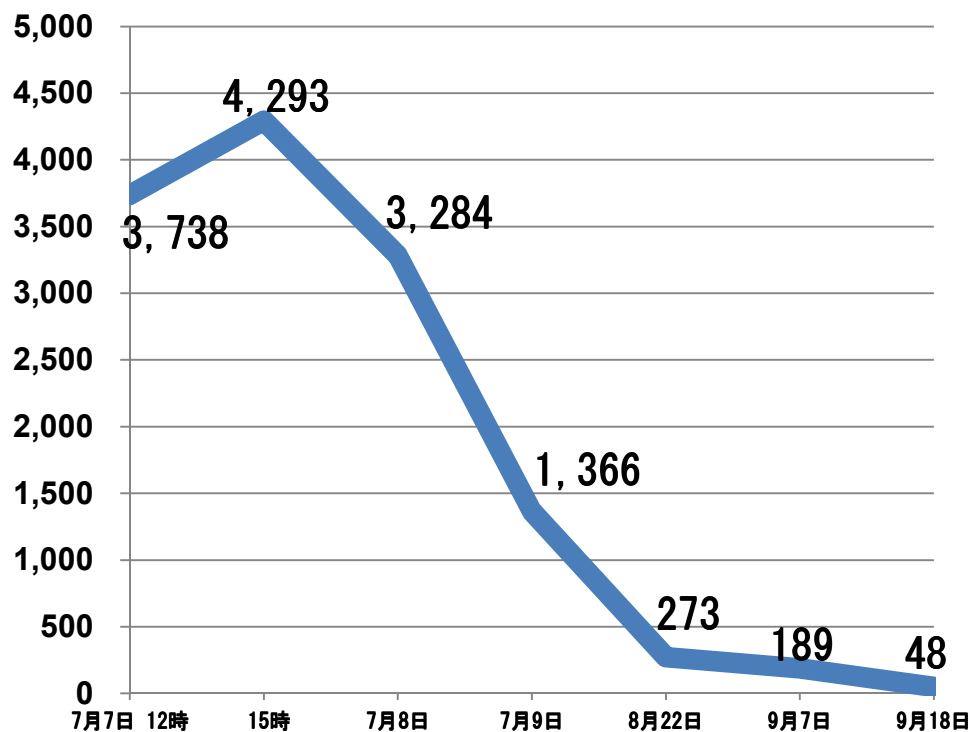


宇和島市吉田町の仮浄水施設（8月4日）

関係省庁、東京都等の支援を得て、
8月4日に通水

3 住居環境の早期整備

○避難者の推移



○仮設住宅等の整備・提供

建設戸数 176戸

(宇和島市12戸、大洲市60戸、西予市104戸)

8月下旬完成→9月上旬から入居開始

○仮設住宅（西予市野村地区）の特徴

- ・可能な限り県産材を使用
- ・コミュニティ・スペースの設置

コミュニティ・スペース



仮設住宅



4 被災地の復興に向けた取り組み

○愛媛県復興本部の設置（8月30日）

○復興に向けた取り組み

- ・被災者の生活再建の総合的な支援

支援金の支給、健康支援、児童生徒の支援、被災箇所の早期復旧

- ・かんきつ農業の復興

ワンストップ相談対応等、被災農家の営農再開等支援、農地・農業用施設の復旧支援

- ・中小企業者の支援による地域産業の再生

グループ補助金、ふっこう周遊割、商工・観光業者への支援

- ・公共インフラ施設の早期復旧

公共施設等の復旧、道路・交通機関の復旧

